

議 事 録

会 議 名	令和 2 年度第 2 回八潮市水道運営委員会
開催日時	令和 3 年 2 月 19 日（金） 午前 10 時 00 分～11 時 20 分
出席委員	村山委員長、恩田副委員長、坪田委員、渋谷委員、面来委員、飯山委員、福岡委員、村松委員、木村委員、玉森委員 10 名
次 第	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 自己紹介 4. 委員長・副委員長の選出 5. 議題 (1) 八潮市水道事業の概要について (2) 令和元年度八潮市上水道事業の決算について 6. 閉会
議 事	<p>1. 八潮市水道事業の概要について事務局から説明後、質疑応答を行った。</p> <p>質疑なし</p> <p>2. 令和元年度八潮市上水道事業の決算について事務局から説明後、質疑応答を行った。</p> <p>○ 主な質疑応答</p> <p>（ 委員 ） 管路の耐震化事業の現在の進捗状況についてご説明を。</p> <p>（ 事務局 ） 石綿セメント管やポリエチレン管や漏水が多発している箇所を主に布設替えをしている。令和元年度は、軽くて施工性が良い青ポリ管を導入し、伊草団地付近で試験施工を行った。首都高速道路の南側や区画整理地区などで施工し、配水管の布設替えは 2,547.6m、配水管の新設は 1,255.4m完了した。</p> <p>基幹管路等耐震化工事については、計画延長は 4,020mであり、そのうち令和 2 年度で施工している第 3 期工事が完了すると累計で 538mの布設が完了予定である。進捗率にすると約 13%である。</p> <p>（ 委員 ） 配水管の新設と布設替えの延長が 3,803mに対し廃止した延長が 4,126mと、廃止した管の方が多くなっているが、廃止に対して新設と布設替えが追い付いていないという認識でよいか。</p>

(事務局)

現道上での管の布設替えでは、管を撤去し新たな管を入れるため、管の延長に差異はないが、区画整理事業内では、撤去、新設、布設替えの箇所が混在するため、管延長に差異が出る。

(委員)

給水管における一次側、二次側の境はどこであるのか。また給水管修繕の際の費用負担についてご説明を。

(事務局)

道路に埋設されている配水管から自宅まで引いている管を給水管という。給水管についてはお客様の所有であるが、水道メーターについては八潮市の所有である。給水管の修繕費用については、一次側は原則、八潮市の負担で、二次側はお客様の負担としている。一次側とは、配水管からメーターボックスまで間の管のことで、一次側で漏水があった場合には、地下でかつメーターボックス手前のため、漏水が発見しづらいなどの理由により、漏水等の修理費用は、原則、八潮市で費用を負担している。二次側とは、メーターボックスより先の管で、メーターボックスより先及び建物内のお風呂やトイレでの漏水等は、お客様の方で工事に連絡し、お客様で費用を負担していただくことになる。

(委員)

基幹管路の耐震化率について、令和元年度と平成30年度を比較すると令和元年度は25.4%に対し、平成30年度は25.0%と1年間で0.4%改善されているが、全国平均や埼玉県平均の方がより改善されているのはなぜか。

(事務局)

基幹管路等耐震化工事は現在施工中で、県道松戸草加線の水道部の南側から産業道路までの4,020m。片側2車線のうち北側に口径450mm~800mmの管を布設する。

施工箇所には、商業地区があり、県道平方東京線と青葉通りが交差しており、道路の下には広域下水道管やガス管、また水路が通っている。このため、既設の道路に埋設されているものをよけながらの施工となり、占有者との調整が必要となる。これらの場所では、掘削機で掘って土留めし、開削工法により管を布設する。葛西用水と交差している箇所は工法を検討しているところではあるが、平成30年度と令和元年度は施工条件が難しく、事業費がかかる箇所を施工しているため、延長が伸びていない状況である。

また、八潮駅の開業に合わせ、中央地区で水道管の撤去や新設を重点的に行い、八潮駅周辺の新市街地、南部3地区に事業費を投入してきた。既成市街地地区は老朽管の布設替えを行ってきた。中央浄水場内の配水施設の更新事業では、PCタンクのうち1つは耐震性の乏しく、配水ポンプ室も老朽化していたため新設した。そのため、基幹管路耐震化事業に重点的に事業費を投入できていなかったことも1つの要因である。

(委員)

基幹管路耐震化事業が完了すると、基幹管路の耐震化率は何パーセントになるのか。

(事務局)

計画の目標値で令和7年度に耐震化率40%を目標としている。

(委員)

水道料金の減免の費用はいくらかかったのか。

(事務局)

令和2年8月から11月までの4カ月間に基本料金の2分の1、総額で約1億914万円減免を行った。費用の半分は、国からの臨時交付金約5,457万円で賄い、残りは水道事業で負担した。